

京極夏彦氏最新作  
『ルー=ガルー2 インクブス×スクブス 相容れぬ夢魔』

出版史上初！  
単行本・ノベルス・文庫・電子書籍  
4形態を講談社から同時発売！

株式会社講談社(代表取締役社長:野間省伸)は、京極夏彦氏最新作『ルー=ガルー2 インクブス×スクブス 相容れぬ夢魔』を、単行本・ノベルス・文庫・電子書籍の4形態全てにおいて同時に発売いたします。

昨年、iPad日本発売と同時にリリースし大きな話題となったiOS向けアプリケーション『死ねばいいのに』にて、作品と出会う新たな選択肢としての電子書籍を提案いたしました。今回は紙の書籍の可能性を最大限に活かしながら、電子書籍を合わせて展開することにより、読者がほしい大きさ・形を最初から自由に選択できる、新たな読書スタイルの可能性を探る試みに挑戦いたします。

#### 販売方法概要

□タイトル／著者名

ルー=ガルー 2 インクブス×スクブス 相容れぬ夢魔 / 京極夏彦

□発売予定日

2011年10月14日

□販売価格

・単行本(四六判) 予価:3,200円〔税別〕

・ノベルス版(新書判) 予価:1,400円〔税別〕

・文庫版 上下巻 予価:各700円〔税別〕

・電子書籍\* 予価:1,400円〔税込〕

□購入方法

書籍 : 全国書店にてお買い求めいただけます。

電子書籍\*\* : 専用アプリならびに、PC・アンドロイド・iOS対応の各電子書店にて発売予定です。

\* 電子書籍の発売書店につきましては別途発売前にお知らせいたします。アプリはiOS向けアプリです。

## 京極夏彦氏ならびに弊社代表取締役社長からのコメント

同一のコンテンツを扱っていたとしても、四六判、新書判、文庫判、そして電子書籍は、商品としてはまるで別個のものです。それは単に判型や価格の差ではありません。

たとえば、「文庫落ち」という言葉があるように、新書や文庫を四六判や菊判より一段低く、ソフトカバーをハードカバーより一段低く見做す傾向というのは今でも業界内に根強く残っています。現状、まずは単行本、そして新書、文庫という順で出版されることが慣例となっており、その度に安価になっていくため、そうした認識もなくならないのでしょうか。

しかしテキストの精度に関していうなら、後発の方が高まることは疑いようがありません。細かい誤記や誤字なども修正されるでしょうし、時に加筆もされるでしょう。文庫が「ファイナルヴァージョン」となるようなケースも多く見られます。文庫は、品物としては格下扱い、しかしテキストとして捉えるならば最終版という、歪つな位置づけの商品になってしまっているのです。その一方で「文庫オリジナル」作品が、既に当たり前のように提供され、受容されていることも事実です。

文庫が単行本の廉価版、軽装版に過ぎないという認識は、送り手側の幻想です。文庫ユーザーにとっては、文庫こそが「本」です。そして書店にとっても大切な商品なのです。同じように単行本もノベルスも、そうであるべきでしょう。

価格が安い、携帯しやすい、収納しやすい——たしかに、文庫にはそうした商品特性があります。同じように、単行本にも、ノベルスにも、そして電子出版にも優れた特性があります。それはそれぞれ違う「良さ」であるはずですが、それぞれの特性を生かしたプレゼンテーションがなされるならば、それぞれはそれを求めるユーザーの元にきちんと届くはずですが。同じように、書き手も単行本、ノベルス、それぞれがそれぞれの「ファイナルヴァージョン」となるように努めるべきでしょう。電子出版に至っては、まったく別個の顧客層に向けたアプローチを考えるべきです。「紙の本と競合する」ようなありかたは、本来的ではないはずだからです。

以前、講談社文庫では、同一コンテンツの「文庫」と「分冊文庫」同時発売という試みをさせていただきました。同じ内容であるにもかかわらず、それまでと変わらない結果を得ることが叶いました。また、昨年は単行本と電子版の同時発売という試みもさせていただき、こちら相乗効果こそあれ、マイナスと思われる面はまったく見られませんでした。ニーズに併せた商品作りを心がけるという基本に立ち返るなら、今回の同時発売も決して奇異なことではないと考えています。

京極夏彦

講談社は、昨年の『死ねばいいのに』発売を経て、紙と電子の相乗効果を実証し、新たな読者を獲得する得がたい経験をいたしました。今回の同時発売は、“読者と作品が出会うチャンスを最大限に広げる”さらに進んだ試みと考えております。出版界が激動の時代に、新たな扉を開くこの試みが、「読書」の楽しみと素晴らしさをより多くの方に伝え、版元はもとより、書店や著者の未来、そして出版界全体の活性化につながるものと信じております。

講談社代表取締役社長 野間省伸

## 『ルー=ガルー2 インクブス×スクブス 相容れぬ夢魔』について

### 【あらすじ】

近未来。少女・牧野葉月たちは閉じた世界の中、携帯端末(モニタ)という鎖に縛られて生きていた。そこは窮屈ではあるものの不純物のない安全な檻——のはずだった。が、その世界に突如現れた連続殺人犯。少女たちは、殺人犯とその背後に聳える巨大組織との対決を余儀なくされる。驚愕の事件から数ヵ月。世間は一時、安定を取り戻したように見えた。前回の事件の被害者として、この世界に漠然とした不安を抱えていた少女・来生律子のもとに、小瓶に入った謎の毒を持った作倉雛子が訪ねてくる。雛子は毒を律子に託し姿を消す。奇妙な毒の到来は、新たなる事件の前触れなのか……。 「突如凶暴化する児童たち」「未登録住民達の暴動」「奇怪な製薬会社」「繋がる過去と、現在の事件」すべての謎が明かされるとき、新たなる扉を開けた少女たちは何を想う!?

### 【著者紹介】

1963年生まれ。1994年『姑獲鳥の夏(うぶめのなつ)』でデビュー。1996年『魍魎の匣(もうりょうのはこ)』で第四九回日本推理作家協会賞(長編部門)、1997年『嗤う伊右衛門(わらういえもん)』で第二五回泉鏡花文学賞、2003年『岨き小平次』で第一六回山本周五郎賞、2004年『後巷説百物語(のちのこうせつひやくものがたり)』で第一三〇回直木賞を受賞。近作に、『虚言少年』、『豆腐小僧』『オジいサン』などがある。2010年には『死ねばいいのに』(講談社)を日本初のiPad/iPhone版電子書籍アプリとして刊行した。公式ホームページ「大極宮」<http://www.osawa-office.co.jp/>

### 【関連商品】



ルー=ガルー  
忌避すべき狼  
(講談社ノベルス)  
1470円(税込)



分冊文庫版  
ルー=ガルー  
忌避すべき狼(上)(下)  
(講談社文庫)  
各巻700円(税込)



ルー=ガルー  
忌避すべき狼①~③  
(KCDX)  
各巻750円(税込)



劇場アニメーション  
『ルー=ガルー』  
Blu-ray 6300円(税込)  
DVD 2940円(税込)